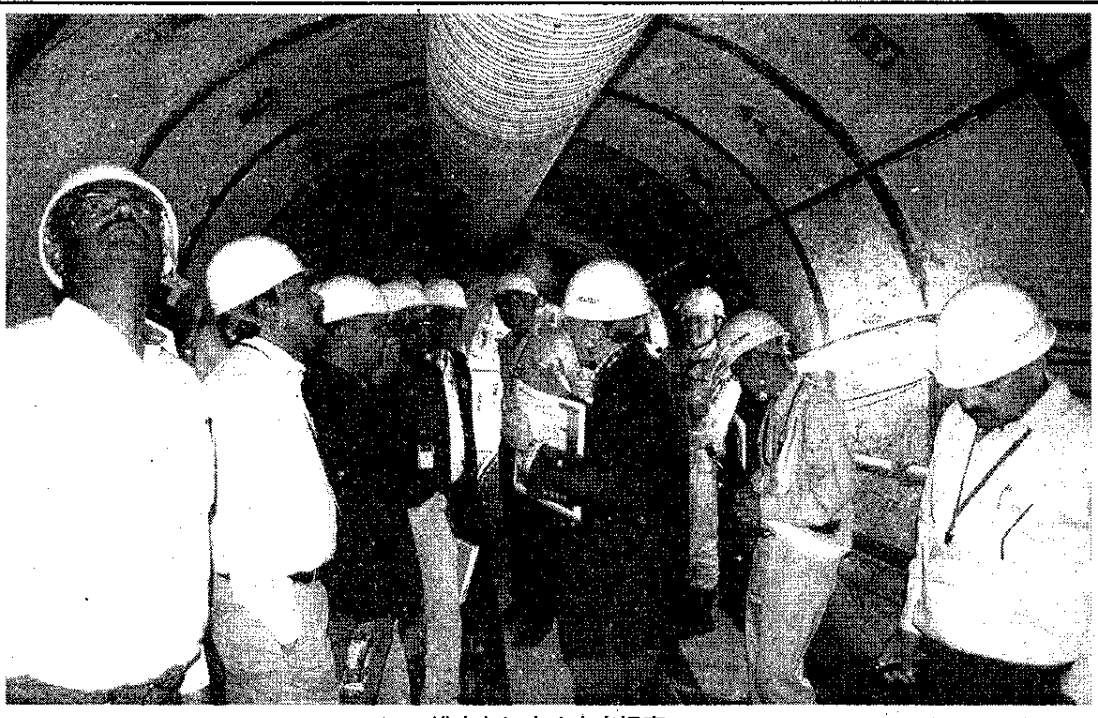
富士山新報
10月26日
金曜日
発行所
株式会社 育心
〒418-0002
富士宮市中原町7番地
☎(0544)24-9050
FAX(0544)24-9007
購読料 1か月 630円
1部売り 50円

富士砂防×インド防災
日本の先進技術を視察


排水トンネル内を視察

JICA研修員として来日しているインド国の防災関係者は24日、国土交通省富士砂防事務所（杉本宏之所長）が平成17年から実施している「由比地滑り対策事業」の先進技術を視察した。

午前中に市内三園平の同事務所をJICA職員らに伴われて来訪した9名の研修員は、荒木孝宏地滑り対策課長・奥山技官から事業概要、工事概要と現場の安全対策や環境保護・保全対策、近隣との工事協定等の説明を受けた。

荒木課長は「研修員が真摯に話を聞き、真剣に質問をしてきた。自国の防災対策を担う誇りと意識の高さを感じました。予定時間は超過しましたが、この後の現場視察が楽しみです」と話していた。

はじめに、由比西倉沢の工事現場を視察した一行は、薩埵峠展望台から地滑り対策事業箇所の現況と地滑り監視カメラの設置状況や眼下の東名高速道路および国道一号線が日本の大動脈であり、西倉沢の地滑り対策は国家にとって重要な事業であること等の説明を受けたが、ここでも研修員から、地滑り予測に関する事等多くの質問が発せられた。

その後軽量盛土・仮設橋等を使用した工事用道路、完成後の深礎杭の上で、仕様・強度・施工工程や3D画像利用の立体設計図、完成予想図等について大型パネルを使っての説明を受けた後、施工中の深礎杭を視察した。

研修員は深礎杭の規模や工程・所要時間、緻密な作業や作業員の勤務態度・服装等にも感心しながら、熱心に質問を繰り返した。

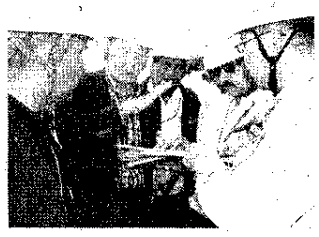
最後に工事中の排水トンネルと施工機械について、大型パネルでの技官と工事関係者の説明後、工事中のトンネル内に入り、微細にわたり視察を続けた。

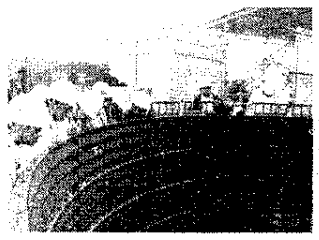
視察終了後は全員での写真撮影の後、研修員の代表が「今日は私たちの質問に対して、丁寧に答え、教えていただき、本当にありがとうございました。皆さんが全員で力を合わせて努力をしていることに感動しました。皆さんが、この大規模な工事が国の将来に生きる事を信じて、頑張っていることは素晴らしい事だと思います。私たちも国へ帰って、皆さんを見習い、教えを生かして、インドが国家として繁栄する為の努力をしていきます」と謝辞を述べた。

日本研修の感想を問われて、研修員の一人は「日本へ来て、人々の心遣い・優しさに接しました。日本人が勤勉で正直であること、何よりも時間を正確に守ることは、素晴らしいことだと思います。自分たちも見習わなければいけません。日本の驚異的な技術発展の裏には、日本人の精神を育てた伝統文化がある事を知りました。我々が最も学ばなければいけないことだと思います」と答えた。

今回の視察はJICAの主催で行なう「山岳道路での斜面対策・橋梁・トンネルの設計・建設技術」研修の一環であるが、富士砂防事務所では毎年研修に協力している。

富士砂防事務所が実施している「地滑り対策事業」は平成17年度に着工した大事業で、20年間で完工する予定であり、順調に工事は進んでいることから、傾斜地下の住民の生命・財産と日本の大動脈を守るために、1日も早い完成が待たれている。


対策事業箇所の現況説明


施工中の深礎杭を視察

話題のサイトアップ

美しいフォルムの「おもてなし富士山袋」

「富士山袋」ブームに火が付き、外国人観光客へ配布
「おもてなし戦略」、いよいよ高校会議所で
折り紙伝道師三浦久子さん、指導

「平和を祈る折鶴」に始まり「富士山折り紙」を創作するなど、折り紙を通じた富士宮のPRに取り組んでいる伝道師三浦久子さん（青木平）が試作したおもてなし富士山袋を、富士宮高校会議所の高校生が連携して、富士宮を訪れる外国人観光客らにプレゼントする企画が始まる。

三浦さんの「おもてなし富士山袋」は、子ども達などへ一口サイズの小さなスイーツやアメを入れて贈る心遣いに、小袋仕様に仕立てたもので、外国人に喜ばれた過去の実績から高校生が注目、活用に乗り出した。

三浦久子さんの「平和を祈る折鶴」創作活動は、3年前から姉の木目込み作家として活躍した渡辺秀由さんと「次代を担う子どもたちに平和の折鶴を手渡そう」と始めたもの。

これまでに、文具の蔵Rihei や長崎屋洋菓子店協力で展示や配布が行なわれ、富士宮高校会議所に贈ったり、静岡県富士山世界遺産センター開館に合わせて富士山の標高分3776個を配布したり、多くの実績から、平和や富士宮市をPRする運動として知られるようになった。

自身が通う体操教室では「折り方教えて」との声も増え、女性たちに人気の折り紙は「富士山麓のおもてなし」ブームに密かに火をつけ、広がりを見せている。

袋は富士山を逆さにした形で、幾重にも折り重ねられている。和紙などで折ると雛祭りや伝統行事にも応用できそうな品格ある物で、一枚の折り紙からできるというから「どうやって折るの？」と関心を集める。

高校会議所では今回、たった一人で「富士宮市のために」とおもてなし品を作り続ける三浦さんに注目し、「おもてなし戦略」としてともに活動を展開することを決定。定例会で指導を仰ぎ、大社での配布を決めた。

市議会議員からも「こういった一人ひとりの小さなおもてなし活動に注目して、活かしていけばいいのではないか」との声が出るなど、だんだんに大きな流れを作りだしている。

折り紙伝道師の魔法の手

プロパンガス・住宅設備・太陽光発電システム
高圧ガス・防災機器・環境機器
OBRICK
オブリック株式会社
富士宮市田中町543番地
TEL 0544-24-2211
FAX. 0544-23-0248 http://www.obrick.co.jp

富士山新報
購読申し込み先
鈴木新聞店 ☎26-3285
中野新聞舗 ☎23-3333
勝亦新聞店 ☎26-1100
SHC南部新聞販売センター ☎26-2543
中西新聞店 ☎28-1133

胃腸科・肛門科・放射線科・皮膚科
後藤外科医院
東町東小学校前 TEL㉖5002・㉗2123

アルバイト募集
新聞の配達をお願いします
●2時間位です ●時給1,200円
●要バイク免許
詳しくは 電話26-3285まで
富士宮市小泉1124-1 株式会社 鈴木新聞店

身近かなニュース
富士山新報

家庭的愛情のなかで人間形成の基礎を育てる
愛育託児所
富士宮市淀川町三番九号 ☎(0544)26-5834

外来診療時間

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30 11:30	○	○	○	○	○	○
午後 2:00 5:00	○	○	○	○	○	○

休診日：日曜・祝祭日です
医療法人社団一秀会 指出泌尿器科
院長 指出一彦 須床洋
渡辺真／遠藤美樹子／長尾慶治
富士宮市朝日町9番5号 ☎0544-24-3511(代)

いちばん、あなたの心を大切にする葬儀社へ
藤原は「いやし」と「やさしさ」でお応えします。
感謝を伝えたい
家族葬「ふれ愛」
会員価格38万円(税別) ご会葬者30名様 ※返礼品、料理、宗教者へのお礼を除く
葬儀仏壇 株式会社 藤原
0120-26-3840